

2022年度おだわら市民交流センターUMECO事業計画(案)

no	事業名	機能	コンセプト	目的	実施内容	指標	令和4年度 目標値	令和3年度 実績値
1	UMECO企画展	拠点	きっかけ	市民活動団体に対し活動内容や成果等を発表、アピールする場を提供するとともに、市民に市民活動に関心を持ってもらい、UMECOや市民活動団体を知ってもらう機会を提供する。	多目的コーナーやホワイエを利用し、市民活動団体等からの展示企画の要望等を反映し、各団体の特徴を生かした展示や、市の行事や季節感のある行事を取り入れ、市民が興味を示すような展示を開催する。(展示希望団体の募集・見学者へのアンケート調査を随時実施)	開催回数 参加団体数	30 30	27 26
2	アクティブサロン	拠点	きっかけ	市民活動団体に対し企画展以外の発表の場を提供するとともに、市民に市民活動について知ってもらい、体験してもらう機会を提供する。	活動エリアや交流エリアを利用し、サロン形式やイベント形式での活動紹介や、活動成果物の販売等、多様な形で開催する。月1回(2日間)程度を目安とする。(参加希望団体の募集を随時実施)	開催回数	10	4
3	市民活動入門講座	学習・体験	きっかけ	市民の方々が生きがいを持ち、活き活きとした社会生活ができるよう市民活動参加へのきっかけ作りをする。また、生徒や学生に市民活動について学んでもらう機会を提供する。	市民活動に興味を持ち、活動を始めてもらえるようなきっかけを作るため、市民活動の基本的な内容や、市民活動の楽しさを知ってもらえるような講座を開催する。また、市内の大学や高校等へ積極的に働きかけ、市民活動について広く周知啓発するために講座を開催する。	開催回数 (出張講座含む)	5	2
4	夏休みボランティア体験学習	学習・体験	きっかけ	青少年の時期には、学校内外を通じてボランティア活動の場や機会を充実させることが大切である。社会にどのような貢献ができるかという「ボランティア精神の芽生え」のきっかけ作りを行う。	ボランティア体験の受け入れができる登録団体を募集し、受入団体と児童・生徒等との橋渡しをする。多くの市民活動団体に積極的な参加を募る。また、学校側の協力を得られるよう働きかけを行う。	受入団体数 参加人数	30 300	感染症対策のため中止
5	男女共同参画の推進	学習・体験	きっかけ	男女が、社会の対等な構成員として、自らの意志によって社会のあらゆる分野において、活動に参画できる機会を確保できる社会の形成のため、市民活動団体等と連携して男女共同参画を推進する。	小田原市が進める「男女共同参画プラン」を参考に、市民活動団体をはじめ、市民全般への意識向上を推進するため、企画展等を開催する。	開催事業数	5	4
6	団体支援 (団体向け各種講座含む)	学習・体験 相談・支援	実現	市民活動団体の活動を広く支援するための各種講座の開催等、団体成長の手助けとなる事業を展開し、活動団体を支援する。	神奈川県のかながわボランティア活動推進基金21のメニューの一つである団体成長支援事業の「17の視点」を活用し、市民活動団体の弱点をフォローして成長につなげる。また、市民活動団体の運営に関する支援講座(特にホームページ活用等のパソコン関連)を開催する。その他、市民活動団体の法人化のための相談・支援等を行う。	成長支援実施団体数 講座開催数	2 4 (講座形式)	1 21 (マンツーマン形式)
7	企業とのネットワーク	協働支援	実現	市民活動団体と企業との協働により、市民活動団体の活動範囲の拡大を図る。また、企業との連携により社会貢献に向けて活動を展開することで団体の資質の向上につなげる。	実績のある「フレスポ小田原シティーモール」と「ミナカ小田原」でのパフォーマンス主体の事業を継続する。市内の企業を中心に、企業との連携を推進する。	イベント開催数	15	7
8	地域とのネットワーク	協働支援	実現	地域課題の解決のため、地域の各種団体と市民活動団体との連携を強める。	地域のニーズを把握するための情報交換会を開催する。従来の「うきうき交流会」の他地域への展開を検討する。Hello!UMECOの活用等を進める。	市民活動団体を地域に紹介した件数	18	16
9	UMECO祭り	交流・コーディネート	行動	市民にUMECOや市民活動について周知し、市民活動参加へのきっかけを作るとともに、市民活動団体相互の交流を行う。	登録団体が活動発表や作品展示など様々な企画(活動紹介・物品販売・パフォーマンス)を行い、自分たちの活動内容を多くの市民に知ってもらう。	参加団体数 参加人数	100 1,400	62 1,200
10	団体交流会 (市民活動団体以外の主体も含む)	交流・コーディネート	行動	登録団体同士の交流や情報交換により、市民活動の発展を図る。また、多様な主体(地域活動団体、学校関係、企業等)との交流により市民活動団体の活動の場を広げる。	①団体交流会 ②パートナーシップミーティング ③新春交流会	事業開催数	4	4
11	情報発信	情報の集約・発信	行動	広く情報発信ができる媒体を活用し、UMECOおよび市民活動団体の情報を発信することで、市民活動を周知する。	①情報誌(UMECOだより/つながる)の定期発行 ②ホームページの運用 ③FMおだわらの活用 ④新たな情報発信メディアへの展開	情報誌発行回数 FMおだわら出演回数	6 51	6 51
12	その他 (基本業務・相談業務)	拠点 相談・支援	きっかけ 行動 実現	申請の受付などの基本業務や相談業務を行う。	①市民活動応援補助金事務業務(申請受付・事業視察) ②登録更新業務 ③相談業務 ④インターシップ受入 UMECO市民活動応援補助金の交付見込がないため、既にいただいている寄附金の活用方法を検討する。 職員研修の内容について検討する。	補助金申請数 登録団体数 相談件数 インターンシップ受入数	10 400 60 2	10 396 52 2

※令和3年度実績は、令和4年1月末時点のものです。

※UMECOの基本コンセプト「つながる」に基づく3つの方針

- ・きっかけ: つながりを生み出すきっかけの場(市民活動に興味のなかった方にも地域課題に関心を持ってもらう。身近な社会貢献活動の環境を整備する。)
- ・行動: それぞれの思いがにつながる行動の場(市民活動団体だけでなく、事業者や地域活動団体等の多様な主体の交流を促進し、新たな連携関係を生み出す。)
- ・実現: 行動を社会貢献につなげる実現の場(活動をより社会貢献度の高い活動として広げる。資金や人材等をつなぎ、持続可能な事業となるよう支援する。)